

## 全日本中学校通信陸上競技広島県大会 競技注意事項

- 1 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。競技規定 TR16により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- 2 決勝進出について
  - ・トラック競技は着順またはタイムによって決勝進出者を決定する。着順判定は1/1000秒まで行い、同タイムが規定人数を上回る場合は抽選を行う。
  - ・短距離種目は上位8位までが決勝に進出する。ただし、A・B決勝を行う種目は、16人が決勝に進出し、A決勝のレースのみ8位入賞の対象とする。
  - ・決勝のレーン順は、番組編成の際、本部で決定する。
  - ・長距離種目の決勝進出は以下のように定める。※()は決勝に進出人数
    - [着順予選] 2年男子1500m(15名)、1年女子800m(12名)
    - [タイム予選] 共通男子800m(8名)、2・3年女子800m(8名)、共通女子1500m(15名)、男子3000m(18名)
    - [タイム決勝] 1年男子1500m、3年男子1500m
- 3 セパレートレーンでの競技の際は、接触事故防止のためゴール後はレーンに沿ってカーブする。
- 4 競技用シューズの扱いについて
  - ・競技に使用するスパイクのピンは、全天候型で長さは9mm(走高跳は12mm)を超えてはならない。
  - ・競技用シューズの扱いはTR5.2を適用する。ただし、投てきは適用除外とする。

	種目	靴底の厚さ
トラック	800m未満・ハードル	20mm以内
トラック	800m以上	25mm以内
フィールド	跳躍・投てき	20mm以内

- 5 ハードルの高さ・インターバルは次のとおりとする。
  - 男子 110mH 高さ91.4cm インターバル 13m72 - 9m14 - 14m02
  - 女子 100mH 高さ76.2cm インターバル 13m00 - 8m00 - 15m00
- 6 投てき種目の重さは次のとおりとする。
  - [砲丸投] 男子(5.0kg) 女子(2.721kg)
  - [四種競技・砲丸投]男子(4.0kg) 女子(2.721kg)
  - [円盤投] 男子(1.5kg) 女子(1.0kg)

- 7 共通走高跳・共通棒高跳のバーのあげ方は次のとおりとする。

### [走高跳]

男子 1m45 - 50 - 55 - 60 - 65 - 70 - 73 【以後3cmずつ】(練習:1m45と1m60)

女子 1m25 - 30 - 35 - 40 - 45 - 48 【以後3cmずつ】(練習:1m25と1m40)

### [四種競技]

男子 1m25 - 30 - 35 - 40 - 45 - 50 - 55 - 58 【以後3cmずつ】(練習:1m25と1m40)

女子 1m20 - 25 - 30 - 35 【以後3cmずつ】(練習:1m20と1m30)

### [棒高跳]

男子 2m00 - 20 - 40 - 60 - 80 - 3m00 【以降10cmずつ】

女子 競技開始の高さ・バーのあげ方については、競技者と審判員との協議する

8 フィールドの計測ラインは以下のようにする。

[走幅跳] 男子 5m30 女子 4m20

[砲丸投] 男子 8m00 女子 8m00

[円盤投] 計測ラインなし

9 四種競技の砲丸投の試技は3回までとする。

10 フィールド種目の試技は、開始の合図から1分以内に試技を始めなければならない。

11 アスリートビブスについて

- ・競技者は、チーム名入りアスリートビブスを胸背部に正しく付ける。
  - ・走高跳・走幅跳・棒高跳については、胸部・背部のどちらかだけでもよい。
  - ・アスリートビブスのない競技者は出場できない。
  - ・トラック競技の出場者(リレーはアンカーのみ)は、腰ナンバー標識を招集所で受け取り、右腰のやや後方につける。(安全ピンを各自12本準備する)
  - ・競技終了後にゴール地点で返却する。
  - ・中長距離種目の選手については、次のようにアスリートビブスをつける。
    - 「800mは、胸も背中も学校ビブス」
    - 「1500mは、胸がアスリートビブス、背中は学校ビブス」
    - 「3000mは、胸も背中もアスリートビブス」
- ※競技運営上、変更もありうるので、それぞれ学校ビブスを準備しておく。

12 招集について

- ・招集開始時刻・完了時刻は、プログラムに記載されているとおりとする。
- ・招集は第4コーナー入口の招集所で行う。ユニフォーム・学校(チーム)ビブス・スパイクなどを持参し競技ができる準備をして招集完了時刻までに点呼を受ける。
- ・競技者は、招集所で指示を受けた経路に沿って、スタート地点や競技ピットに向かい、競技終了後も指示された経路、ゲートより退場すること。正面スタンド前は通らない。
- ・リレーのオーダー用紙は、学校受付または招集所で受け取り、予選・決勝とも各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出する。提出が遅れた場合は失格となる。なお、当初エントリー(6名)以外の競技者が出場の場合はその出場種目、プロ掲載ページを記載し、競技者係に提出する。
- ・多種目を兼ねて出場する選手で招集時刻等が重なる場合は、「多種目同時出場届」を提出する。

多種目同時出場届は競技中で招集を受けることができない場合について配慮するものであり、競技の進行に対する配慮ではありません。

種目が重なっている場合は各自が競技の進行やラウンドの状況を把握し、各自の判断で競技場所に移動すること。その場を離れる時や、競技に戻ってきた時には、その都度競技役員にその旨を伝えること。
- ・代理人により招集は原則認めない。ただし、リレーと他競技を兼ねている選手で、競技中のためリレーの招集に行けない場合は、同じチームの選手がその旨を競技者係に伝えることができる。
- ・招集を受けていない、または招集時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないとみなし、出場できない。
- ・競技を棄権する場合、予選・決勝を問わず欠場届けを競技者係に提出すること。用紙は招集所に用意する。
- ・招集所には競技者以外は立ち入らない。

13 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできないため、事前に商標を隠すためのテープを貼るなどの準備をしておく。

14 練習会場の使用について

- ・各団体からの練習用具の持ち込みはできない。
- ・フィールド内の芝生には入らない。
- ・競技役員の指示に従い練習を行う。

[メイン競技場] (トラック種目のみ)

両日とも 8:20~8:50 準備ができ次第、放送で案内後から練習可能。

1~2レーン → 中長距離優先レーン

3~6レーン → 短距離・リレー優先レーン (リレー練習は第2・第3コーナーで行う)

7~8レーン → ハードル優先レーン (110mH: 8レーン、100mH: 7レーン)

※トラック内の芝生部分は使用できません。

[雨天練習場]

- ・雨天の場合のみ使用を可能

[補助競技場]

- ・ハードルやスタブロは会場に設置してあるものを共用して使うこと。

1~2レーン → 中長距離用周回レーン

3~6レーン → 高速レーン (短距離やバトン練習等)

- ・ホームストレートの5~8レーンは時間帯によりハードル練習レーンとしフレキハードルを設置 (男女各2レーン、5台ずつ設置。それぞれインターバルを変えた練習レーン。)

- ・補助競技場内での投てき練習は禁止。(メディシンボールも不可)

15 記録は正面玄関ロビー付近にて掲示・発表する。

16 表彰は、各種目の8位まで (リレーも8位まで) の入賞者に表彰状を授与する。

競技終了後、順位が確定したら、すみやかに正面ロビーに集合すること。

17 本大会の男女の4×100mR優勝チーム (学校単位チーム) は第51回全日本中学校陸上競技選手権大会の広島県代表チームとしての権利を得ることができる。

# 全日本中学校通信陸上競技広島県大会 連絡事項

## 1 団体受付・役員受付について

- 7：00 開場
- 7：30～ 団体受付(正面玄関ロビー)  
競技役員受付(ロビー)
- 8：25～ 全体打ち合わせ(競技運営室)
- 9：00 開会式(スタンド)

## 2 競技役員について

- ・競技役員は、その任務中は、任務に徹し、選手に対する助言、助力を行わないようにして、公正中立な立場で審判業務にあたる。
- ・欠席等により役員が不足するようなことがあれば、引率の先生に競技役員をお願いすることがあります。審判ができるよう服装等は用意しておく。  
〔服装〕 男性：白の半袖カッターシャツかポロシャツ、グレーのズボン  
女性：白のブラウスカポロシャツ、グレーか紺の服装

## 3 開場と待機場所について

- ・両日とも7：00開門をします。けが防止のため、走らないようにしてください。
- ・待機場所を確保する際には、ゆずり合い、最小限にとどめてください。
- ・一日ごとに荷物は撤去し、ベンチなどは元の場所に返してください。

## 4 送迎・駐車場について（※参照「広島広域公園での送迎・駐車についてお願い」）

- ・来場者はできる限り公共交通機関を利用し、車で来場される際は乗り合わせをお願いします。
- ・送迎、駐車は広域公園入口のアスファルトの駐車場を利用してください。駐車の際は駐車枠をはみ出さないようにしてください。
- ・バスを利用される場合はアスファルトの駐車場へ駐車してください。

## 5 観戦について（※参照「観戦・撮影について」）

- ・観戦エリアは正面スタンド全面とバックスタンド・サイドスタンドは最前列のみです。
- ・メインスタンドゴール側の記者席は使用できません。

## 6 撮影について

- ・メインスタンド中段通路より下の客席、スタート・ゴール付近、走高跳・棒高跳付近、望遠レンズを使用した撮影を禁止します。ただし、コーチングエリアでのコーチ・監督の撮影は可能とします。
- ・写真・動画の撮影はその選手の保護者、チーム・学校関係者のみとし、その他の選手が映りこまないよう注意してください。
- ・表彰の際には、上記関係者のみ表彰撮影可能エリアでの撮影は可能。
- ・カメラ・ビデオ・携帯電話等での撮影について、大会関係者から撮影されたデータ等の提示を求められた際には、速やかに提示をお願いします。
- ・撮影した写真・動画などを、ネットの動画サイトなどに掲載することを一切禁止します。
- ・不審な行動を目撃された方は本部へご連絡ください。

※それぞれのエリアは「観戦・撮影について」の図をご確認の上、マナーを守って撮影をお願いします。